

# 幸畑団地地区まちづくり計画



キャッチフレーズ

『明日を見つける 学びときずな 空高いまち 幸畑ヒルズ』

【優先度】  
 ◎すぐに取組む ○計画期間内(5年間)の実施を目指す  
 △計画期間内(5年間)に方向性を決める  
 □ワーキンググループまたはプロジェクトチームをつくり検討する

## 【計画の柱①】活気とにぎわいのある幸畑ヒルズ！

事業① 地域交流促進 ☆ワーキンググループ	優先度
①誰でも参加できる地域交流イベントの開催 ・地区合同のねふた運行や盆踊りの開催 ・あいさつ運動に取組む(「お互い様」の言葉の掛け合いなど) ・世代間交流(餅つき大会)、留学生との交流など	◎
②フリーマーケットや産直市の開催 ・バザー、朝市、古本市、屋台	□
③定期的なイベントの開催 ・学生と町会との連携したイベント ・若者が集う場の創出 ・レクリエーション	○
④福祉館、地域内の集会所の有効活用	△
⑤まち協農園の実験(カシスなど)	□

事業② 地域団体・学校連携 ☆ワーキンググループ	優先度
①子どもの遊び場・学びの場の提供(国際交流など) ・幸畑小、横内小のPTAとの連携	□
②大学と連携した子どものスポーツチームづくり ・青大運動部が子ども達のサポーターとなる ・青大を会場としたイベントの開催(宝探しなど) ・学生とテーマを設けた交流会を開催する	△
③地域住民向け講座 ・パソコン、スマホ、タブレットの操作研修 ・SNS(フェイスブック、LINE)などアプリについての研修	□
④活動に参加してくれる人の発掘 ・協議会の活動のPR、参加者の呼びかけ	□

## 【計画の柱②】幸畑ヒルズをもっと好きになる！

事業① 地域の魅力情報発信 ☆ワーキンググループ	優先度
①幸畑団地のホームページの情報量を充実させる ・地域で行われるイベント一覧の掲載	□
②幸畑団地の自然の魅力や地域活動の様子を伝える ・写真コンテストの開催(風景、子ども写真展) ・日常風景の写真・動画を撮影しPRに活用する ・景色を見渡せる場所の探索	□
③幸畑団地の魅力をアピール ・幸畑の名店、名産品の発掘・PR ・幸畑団地でライブトーク!…提言・要望・相談会 ・「幸畑の日」の制定 ・中心市街地や首都圏でPR、いろいろなイベントに参加	□
④幸畑団地の通りに愛称を付ける	□
⑤学生向け生活マップの作成	□
⑥青森市の鳥フクロウを通じて地域を盛り上げる	□

事業② 地域の歴史・文化継承 ☆ワーキンググループ	優先度
①文化・サークル活動に取組む ・川柳、コーラス、スポーツ、オセロ、将棋など	○
②幸畑団地の歴史・文化を研究 ・地域の写真をストック	○
③幸畑団地文化祭の開催	◎
④自然観察会	◎
⑤幸畑音頭の継承・流し踊りの実施検討	□

## 【計画の柱③】助け合いが広がる・深まる幸畑ヒルズ！

事業① 健康維持啓発事業 ☆ワーキンググループ	優先度
①高齢の方の知識活用場の創出 ・熟年者のスキルを把握するための調査・勉強会	○
②健康教室・介護予防教室の開催 ・包括支援センター、介護施設、社会福祉協議会との連携 ・健康ウォーキング(地域内にコース)、音読、脳トレ教室	◎
③一人暮らしの方々とのコミュニケーションの充実を図る ・訪問見回り	○
④認知症対策事業 ・認知症サポーター養成講座事業(認知症の人を地域で支える) ・認知症モデルタウンづくり事業 ・認知症にやさしい町のための委員会を組織 ・認知症を正しく知る、予防する、啓発する(勉強会の企画) ・もの忘れ相談、認知症相談する場所を設置 ・幸畑団地の「認知症」の現状を調べる(アンケートなど) ・世界アルツハイマーデー(9/21)を幸畑で	◎

事業② 子育て・子ども支援 ☆ワーキンググループ	優先度
①ママ・カフェの検討	□
②子どもたちの異年齢交流	□
③子どもが遊べる場・学びの場の創出(幸畑団地でアウトドア活動)	□
④キッズクラブの創設	□

事業③ 地域環境対策 ☆ワーキンググループ	優先度
①地域の景観向上活動(草刈りなど)	□
②中央花壇への協力、地区でひとつの作品を作る	□

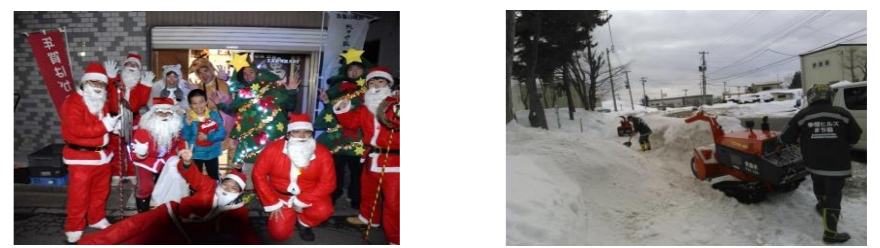
事業④ 地域防災対策 ☆ワーキンググループ	優先度
①防災避難場所の周知を図る	◎
②救急救命講習の開催	◎
③防災訓練の開催	◎
④地域内の危険箇所の把握	◎



## 【計画の柱④】特別プロジェクト

事業① 克雪・利雪プロジェクト ロプロジェクトチーム	優先度
①除雪ボランティアの組織づくり	□
②通学路の除雪隊結成 ・通学路、歩道の確保	□
③町内一斉除雪ローラー作戦	□
④雪かきのマナーの意識啓発と向上を図る	□
⑤雪の活用事業 ・空き地や公園を遊び場として活用(雪祭り、かまくら、雪像、滑り台) ・大学の階段を巨大滑り台化 ・雪の活用実験 ・各家庭での雪灯籠の製作	□

事業② 地域の利活用プロジェクト ロプロジェクトチーム	優先度
①カシスの栽培研究	□
②空き家活用調査	□
③空き家活用事業 ・みんなが気軽に集まることができる町会サロン(カフェ)に! ・世代別・世代間いろいろな人がテーマごとに集まれる機会を増やす ・高齢者と子どもが集う場 ・子育て世帯の住み替えの場所 ・起業するためのスペースとして提供(賃貸、シェアハウス) ・学生向けのシェアハウス ・情報サイトを利用して空き家情報を配信し、転住希望者サポート ・空き家でサークル活動 ・ゲストハウスに宿泊⇒ねふた参加 ※ハネトライダー向け	□



◆幸畑団地地区まちづくり計画の概要◆

【目的】 幸畑団地地区のイメージアップを図り、今住んでいる住民にも、新しく転居してくる人にも、安心して定住できるまちづくりを進めるために策定する。

【期間】 令和元年(2019)度から令和5年(2024)度の5年間

【区域】 南部第五区連合町会(幸畑団地連合町会) 区域  
 ※ 幸畑一丁目～五丁目

【主体】 幸畑団地地区まちづくり協議会

【方法】 会員による住民参加型話し合い(ワークショップ)で提案された意見をもとに、運営委員会において集約しまとめたもの。

【意義】 地域住民のみならず、地域にある大学や企業、またこの地域を愛する方々の協議に基づいた計画を作成・実行することで、より心地よい